

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 2 学年 1 組  
 教科担当者：（ 1組：佐藤 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）  
 使用教科書：（ （三省堂「新文学国語」文国703） ）

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。  
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|---|--|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 領域   |   |  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|--|---|--|---|---|---|---|----------|
|   |  | 話・聞  | 書 | 読  |   |   |   |   |          |
| 1<br>学<br>期   | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、創造や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。</li> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の響きを味わう「二十億光年の孤独」</li> <li>発想の展開を捉える「虹の雌雄」</li> </ul> |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、描写の仕方などを的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul>   |   |   |   | 6        |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな読み方を考える「予感」</li> <li>読みの広がりを追う「雉始雛」</li> </ul>     |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めたり、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul>                    |   |   |   | 7        |
|   | 定期考査   |  |   |  |   |   |   |   | 1        |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</li> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>〈執着〉する心を捉える「山月記」</li> <li>思う心を捉える「デューク」</li> </ul>      |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul> |   |   |   | 7        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。</li> <li>語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>作品の主題を深める「少年という名前のメカ」</li> <li>作中の「謎」を考える「バースデイ・ガール」</li> </ul>   |  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し</li> </ul> |   |   |   | 6 |          |



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 2 学年 1 組  
 教科担当者：（ 1組：金綱俊伸）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）  
 使用教科書：（大修館書店「国語表現」国表701）

教科 国語 の目標：  
 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語表現 の目標：

| 【知識及び技能】                    | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|-----------------------------|--|--|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容             | 領域  |   |   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|---------------------|-----|---|---|--|---|---|---|----------|
|   |                     | 話・聞 | 書 | 読 |  |   |   |   |          |
| ・表記の決まりを意識し、正しく書く。<br>・漢字や慣用表現を正しく使う。   | レッスン1<br>言葉と表記      | ○   | ○ |   | 【知識・技能】<br>・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。〔(1)ア〕<br>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕<br>【思考・判断・表現】<br>・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。                                  | ○ | ○ | ○ | 2        |
| ・係り受けについて理解する。<br>・文末表現について理解する。  | レッスン2<br>整った文を書く    | ○   | ○ |   | 【知識・技能】<br>・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕<br>【思考・判断・表現】<br>・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。   | ○ | ○ | ○ | 2        |
| ・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。<br>・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。<br>・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。 | レッスン3<br>相手に応じた言葉遣い | ○   | ○ |   | 【知識・技能】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けしている。〔(1)イ〕<br>・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕<br>【思考・判断・表現】<br>・「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けしている。〔B(1)オ〕<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。  | ○ | ○ | ○ | 2        |
| ・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。<br>・原稿用紙の使い方を理解する。                                  | レッスン4<br>わかりやすい文を書く | ○   | ○ |   | 【知識・技能】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。〔(1)イ〕<br>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕<br>【思考・判断・表現】<br>・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題を捉え直ししたりしている。〔B(1)カ〕<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・単元1のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2        |

|             |   |   |   |   |  |   |   |   |   |   |
|-------------|---|---|---|---|--|---|---|---|---|---|
|             | <p>・接続表現の種類と働きを理解する。</p>  | <p>レッスン5<br/>文のつなぎ方</p>                                   | ○ | ○ | <p>【知識・技能】<br/>・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。〔(1)ウ〕<br/>【思考・判断・表現】<br/>・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。〔B(1)カ〕<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。</p>   | ○ | ○ | ○ | 2 |   |
|             | <p>・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。<br/>・原稿用紙の使い方を理解する。</p>                  | <p>■実践トレーニング①</p>   | ○ | ○ | <p>【知識・技能】<br/>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕<br/>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕<br/>【思考・判断・表現】<br/>・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔B(1)カ〕<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・単元1のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 3 |   |
|             | <p>定期考査</p>   |   |   |   |  |   |   |   |   | 1 |
| 1<br>学<br>期 | <p>・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。<br/>・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。</p>                               | <p>レッスン1<br/>自己紹介ゲーム</p>                                  | ○ | ○ | <p>【知識・技能】<br/>・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。〔(1)イ〕<br/>【思考・判断・表現】<br/>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A(1)ア〕<br/>・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。〔A(1)エ〕<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。</p>                              | ○ | ○ | ○ | 2 |   |
|             | <p>・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。<br/>・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。</p> | <p>レッスン2<br/>言葉のストレッチ体操<br/>【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ</p> | ○ | ○ | <p>【知識・技能】<br/>・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。〔(1)イ〕<br/>【思考・判断・表現】<br/>・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A(1)エ〕<br/>・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。〔A(1)カ〕<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 1 |   |
|             | <p>・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。<br/>・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。</p>                     | <p>レッスン3<br/>絵や写真を見て書く</p>                                | ○ | ○ | <p>【知識・技能】<br/>・説明の順序や5W1H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。〔(1)エ〕<br/>【思考・判断・表現】<br/>・「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕<br/>・「書くこと」において、読み手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。〔B(1)カ〕<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 2 |   |
|             | <p>・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。</p>  | <p>レッスン4<br/>マイニュース記事を書こう</p>                             | ○ | ○ | <p>【知識・技能】<br/>・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。〔(1)エ〕<br/>【思考・判断・表現】<br/>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。〔B(1)ア〕<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。</p>   | ○ | ○ | ○ | 3 |   |

|  |  |   |   |  |   |   |   |   |
|--|--|---|---|--|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・宝探してみたいに本の世界へ入っていく(声田愛菜)</li> <li>・想像力の世界(金原瑞人)</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組む。</li> </ul> | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識・技能】</li> <li>・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)ア〕</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A(1)ア〕</li> <li>・視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)カ〕</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組もうとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 1 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文の基本的な書き方を理解する。</li> <li>・意見を筋道を立てて書く。</li> <li>・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。</li> </ul> | レッスン1<br>小論文とは何か   | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識・技能】</li> <li>・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。〔(1)エ〕</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 2 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。</li> <li>・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。</li> </ul>        | レッスン2<br>反論を想定して書く   | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕</li> <li>・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 2 |
| 定期考査   |  |   |   |  |   |   |   | 1 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の要旨をつかむための方法を理解する。</li> <li>・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。</li> </ul>                 | レッスン3<br>文章を読み取って書く<br><br>【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖          | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕</li> <li>・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)ウ〕</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 5 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。</li> <li>・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。</li> </ul>          | レッスン4<br>統計資料を読み取って書く<br><br>【表現への扉】データを読む③／データを読む④                      | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕</li> <li>・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B(1)エ〕</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・発想を広げるための方法を理解する。</li> <li>・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。</li> </ul>                        | レッスン5<br>発想を広げて書く  | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕</li> <li>・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 定期考査   |  |   |   |  |   |   |   | 1 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの基本的な書き方を理解する。</li> <li>・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。</li> </ul>                 | レッスン6<br>レポートを書く   | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕</li> <li>・「書くこと」において、文章と図表や画像などを関係付けながら、レポートや報告書を作成している。〔B(2)イ〕</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 4 |

|             |  |                         |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------|--|-------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。</li> <li>引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。</li> </ul>                                  | レッスン7<br>論文を書くために       | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア]</li> <li>・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したり、引用の方法や参考文献の示し方や注の付け方などに留意するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)オ]</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 3 |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。</li> <li>・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。</li> </ul>                            | レッスン1<br>自分を見つめて        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識・技能】</li> <li>・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。[(1)ア]</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア]</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 1 |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の長所を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。</li> <li>・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。</li> </ul>                      | レッスン2<br>効果的な自己PR       | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア]</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。[A(1)ウ]</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 2 |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。</li> <li>・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。</li> </ul>                | レッスン3<br>将来の自分を考えよう     | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア]</li> <li>・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ]</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 3 |
| 定期考査        |  |                         |   |   |   |   |   |   | 1 |
| 3<br>学<br>期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>志望先についての情報を適切な方法で集める。</li> <li>・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。</li> </ul>              | レッスン4<br>志望理由を書こう       | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア]</li> <li>・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ]</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 3 |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。</li> <li>・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。</li> <li>・適切な言葉遣いで書類を書く。</li> </ul> | レッスン5<br>自己推薦書や学修計画書を書く | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識・技能】</li> <li>・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。[(1)イ]</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア]</li> <li>・「書くこと」において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。[B(2)ア]</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 3 |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。</li> <li>・質問に対して、具体的に説得力のある答え方で答える。</li> </ul>                             | レッスン6<br>面接にチャレンジ       | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>【知識・技能】</li> <li>・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。[(1)イ]</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。[A(1)エ]</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。[A(2)ア]</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 3 |

|   |                                   |   |   |  |   |   |   |   |   |
|---|-----------------------------------|---|---|--|---|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッションのねらいを理解する。</li> <li>・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。</li> <li>・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。</li> </ul> | <p>レッスン7<br/>グループディスカッションをしよう</p> | ○ | ○ | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。〔A(1)カ〕</li> <li>・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。〔A(1)キ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul>                                    | ○ | ○ | ○ | 2 |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。</li> <li>・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。</li> </ul>                                   | <p>■実践トレーニング②</p>                 | ○ | ○ | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕</li> <li>・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A(1)エ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 2 |   |
| 定期考査  |                                   |   |   |  |   |   |   |   | 1 |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 地理歴史 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組：田中）

使用教科書： （現代の歴史総合（山川出版社））

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論し | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 |
| 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける                                 |  |   |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|--|---|---|---|---|---|----------|
| 1<br>学<br>期 | 歴史の扉<br>①身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。<br>②私たちの生活に関わる制度や習慣について分析する際に、歴史的に構築されていることをふまえることが大切であることを理解する。            | ①歴史と私たち 現代の私たちと旅<br>②歴史の特質と資料 歴史資料とは何だろうか   | 【知識・技能】<br>・「旅」を題材に私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。<br>・「広がり」を考える際には、空間的な広がりや階層的な広がりを考えることが大切であることを理解している。                          | ○ | ○ | ○ |          |
|             | 第I部 近代化と私たち<br>第1章 結びつく世界と日本の開国<br>①中国で手工業や技術の発展がみられるなか、輸送網と金融システムの展開によって活発な商取引がおこなわれていたことを理解する。<br>②中国と日本の商品生産と流通を対比して、それぞれの経済発展や社会 | 1 18世紀の東アジアにおける社会と経済<br>2 貿易が結んだ世界と日本<br>3 産業革命<br>4 中国の開港と日本の開国  | 【知識・技能】<br>・アメリカ独立宣言やフランス人権宣言の資料を読みとり、そこで述べられている政府の存在意義を理解している。<br>・アメリカ独立革命がこの時期におこった背景について理解している。<br>・ラテンアメリカ諸国の独立の背景や経緯について理解している。                           | ○ | ○ | ○ |          |
|             | 定期考査   |   |   | ○ | ○ | ○ |          |
|             | 第2章 国民国家と明治維新<br>①アメリカ独立革命が1つの市民革命であったことを理解する。<br>②フランス革命のなかでめざされた様々なことについて理解する。<br>③ナポレオンの台頭とフランス革命の関係について理解する。<br>④アメリカ独立革命とフランス革命 | 1 市民革命<br>2 国民国家とナショナリズム<br>3 明治維新<br>4 日本の産業革命<br>5 帝国主義<br>6 変容する東アジアの国際秩序<br>7 日露戦争と東アジアの変動                              | 【知識・技能】<br>・アメリカ独立宣言やフランス人権宣言の資料を読みとり、そこで述べられている政府の存在意義を理解している。<br>・アメリカ独立革命がこの時期におこった背景について理解している。<br>・ラテンアメリカ諸国の独立の背景や経緯について理解している。                           | ○ | ○ | ○ |          |
|             | 近代化と現代的な諸課題<br>近代化の歴史に存在した「開発・保全」「対立・協調」「自由・制限」に関わる課題について諸資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのように関わっているのかについて理解する。                           | 1 開発・保全<br>2 対立・協調<br>3 自由・制限   | 【知識・技能】<br>・「開発・保全」の観点から、環境に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。<br>・「対立・協調」の観点から、大政奉還、王政復古の発令および中国（清）の対外政策についての李鴻章に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に | ○ | ○ | ○ |          |
| 定期考査        |  |   | ○   | ○ | ○ |   |          |
| 2<br>学<br>期 | 第II部 国際秩序の変化や大衆化と私たち<br>第3章 総力戦と社会運動<br>①第一次世界大戦がなぜ最初の「大戦」となったのかを理解する。<br>②第一次世界大戦と日本の関わりについて理解する。<br>③第一次世界大戦にアメリカ合衆国               | 1 第一次世界大戦の展開<br>2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭<br>3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制<br>4 世界経済の変容と日本<br>5 アジアのナショナリズム<br>6 大衆の政治参加                 | 【知識・技能】<br>・諸資料から、第一次世界大戦が当初の予想よりも長期化した要因を理解している。<br>・ヨーロッパの戦争が日本やアメリカ合衆国など、ヨーロッパ外にまで拡大した経緯について理解している。<br>・第一次世界大戦中に出された十四カ条の平和原則と「平和に関する布告」の内容と意義              | ○ | ○ | ○ |          |
|             | 第4章 経済危機と第二次世界大戦<br>①アメリカ合衆国で大恐慌が発生した原因と対策、および世界への波及について理解する。<br>②アメリカ合衆国のニューディール（政策）とその後の国内の変化について理解する。<br>③アメリカ合衆国の孤立主義、とく         | 1 世界恐慌の時代<br>2 ファシズムの伸長と共産主義<br>3 日中戦争への道<br>4 第二次世界大戦の展開<br>5 第二次世界大戦下の社会<br>6 国際連合と国際経済体制<br>7 占領と戦後改革<br>8 冷戦の始まりと東アジア諸国 | 【知識・技能】<br>・アメリカ合衆国の大恐慌と、ヨーロッパや日本がどのように結びついているのかについて理解している。<br>・日本が世界に先がけて恐慌から脱出した時期と要因について理解している。<br>・恐慌に向けた財政政策の相違点とそれぞれの長所・短所について、対比して理解してい                  | ○ | ○ | ○ |          |
|             | 定期考査   |   |   | ○ | ○ | ○ |          |
|             | 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題<br>国際秩序の変化や大衆化の歴史に存在した「対立・協調」「統合・分化」「平等・格差」に関わる課題について諸資料を活用して考察し、それらが現代的な諸課題の形成にどのように関わっているのかを理解す                | 1 対立・協調<br>2 統合・分化<br>3 平等・格差   | 【知識・技能】<br>・「対立・協調」の観点から、日本とインドの鉄道の相違点、日本における鉄道政策をめぐる対立や鉄道事業の国有化と分割民営化など、鉄道政策に関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解して                             | ○ | ○ | ○ |          |



|             |  |  |  |   |   |   |  |
|-------------|--|--|--|---|---|---|--|
|             | 第5章 グローバル化と私たち<br>①冷戦が第二次世界大戦後に独立・建国した国々にどのような影響をおよぼしたのかを理解する。<br>②ベトナム戦争に対するアメリカ合衆国や韓国の姿勢や、日本政府の立場などを理解する。<br>③冷戦に対するアジア・アフリカ諸国に対する影響を考察する。<br>定期考査 | 1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化<br>2 東西両陣営の動向と1960年代の社会<br>3 軍拡競争から緊張緩和へ<br>4 地域連携の形成と展開<br>5 計画経済とその波及<br>6 日本の高度経済成長  | 【知識・技能】<br>・諸資料から、冷戦がアジア・アフリカ諸国に対して与えた影響および冷戦に対するアジア・アフリカ諸国の反応を理解している。<br>・パレスチナ問題や第1次・第2次中東戦争がどのような状況のもとで生じ、また推移したのかを理解している。<br>・インド・パキスタンの分離独立や東南アジア諸国に対する影響を理解している。 | ○ | ○ | ○ |  |
|             |  |  |  | ○ | ○ | ○ |  |
| 3<br>学<br>期 | 第6章 世界秩序の変容と日本<br>①ドル＝ショックの背景と内容、および影響について理解する。<br>②オイル＝ショックの背景と影響について理解する。<br>③大きな政府路線の行き詰まりについて理解する。<br>④日本における高度経済成長の終焉を考察する。<br>現代的な諸課題の形成と展望    | 1 石油危機<br>2 アジア諸地域の経済発展<br>3 市場開放と経済の自由化<br>4 情報技術革命とグローバル化<br>5 冷戦の終結とソ連の崩壊<br>6 現代の東アジア<br>7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの発展   | 【知識・技能】<br>・1973年頃の日本のスーパーマーケットの写真から、なぜこのような状況になったのかを理解している。<br>・ドル＝ショックを示す新聞記事、および米ドルに対する円相場の推移グラフの意味するところを理解している。<br>・原油価格の推移のグラフの意味するところを理解している。                    | ○ | ○ | ○ |  |
|             |  | ①歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する方法を理解する。<br>②現在の課題解決や将来を構想するうえで、歴史的な見方・考え方を活用することが有効であることを理解する。<br>③現代の諸課題に対して、歴史的な見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。 | 【知識・技能】<br>・諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。<br>・身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。             | ○ | ○ | ○ |  |
|             | 定期考査   |  |  | ○ | ○ | ○ |  |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 倫理

教科：公民 科目：倫理 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：（1組：佐藤）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（倫理(東京書籍)）

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、平和のために各国民が協力し合うことについて自覚を深める。

科目 倫理

の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|--|--|
| 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 | 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|---|---|--|---|---|---|----------|
|             |   |   |  |   |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | 第1章 人間の心のあり方<br>人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。     | 第1節<br>人間とはなにか  | ・人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について理解している。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。<br>・人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方について主体的に探究している。 | ○ | ○ | ○ | 5        |
|             | 第1章 人間の心のあり方<br>人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高める。     | 第2節<br>人間の心の働き  | ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。<br>・認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方について主体的に探究している。                                   | ○ | ○ | ○ | 8        |
|             | 定期考査  |   |  | ○ | ○ | ○ | 1        |
|             | 第2章<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観<br>I<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。        | 第1節<br>哲学すること<br>第2節<br>ギリシャの思想<br>第3節<br>宗教と社会           | ・「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解している。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。<br>・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界観について主体的に探究している。               | ○ | ○ | ○ | 8        |
|             | 第2章<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観<br>I<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。        | 第4節<br>キリスト教<br>第5節<br>イスラーム<br>第6節<br>仏教                 | ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。<br>・幸福、愛、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、インドで生まれた仏教に見られる人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界観について主体的に探究している。  | ○ | ○ | ○ | 7        |
| 定期考査        |   |   | ○  | ○ | ○ | 1 |          |
| 2<br>学<br>期 | 第2章<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観<br>I<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。        | 第7節<br>中国の思想<br>第8節<br>芸術                                 | ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。<br>・幸福、愛、徳、真理、存在などに着目して、自分自身の内面にも美を求める心があること、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何か、芸術が人生や社会に与える影響について主体的に探究している。       | ○ | ○ | ○ | 5        |
|             | 第3章<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観<br>II<br>現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 | 第1節<br>近代と人間尊重の精神<br>第2節<br>近代思想の展開<br>第3節<br>人格の尊厳と人倫の思想 | ・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景とともに理解している。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。<br>・近代における人間と近代社会の在り方についての考え方を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。              | ○ | ○ | ○ | 8        |
|             | 定期考査  |   |  | ○ | ○ | ○ | 1        |
|             | 第3章<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観<br>II<br>現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。 | 第4節<br>社会変革の思想<br>第5節<br>理性への疑念                           | ・幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた近代の社会変革の思想について、歴史的背景とともに理解している。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。   | ○ | ○ | ○ | 8        |

|             |  |  |  |   |   |   |   |
|-------------|--|--|--|---|---|---|---|
|             | 角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索す  |  | 方法で表現している。<br>キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方について考察している。   |   |   |   |   |
|             | 第 3 章<br>さまざまな人生観・倫理観・世界観 II<br>現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索す                         | 第 6 節<br>人間観・言語観の問い直し<br>第 7 節<br>他者・自然との関わり             | ・20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観がどのように問いなおされたかという観点から理解している。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。<br>さまざまな人物や宗教の考え方を手がかりに、自分自身が他者や自然とどのようにかわるべきかについて主体的に探究している。           | ○ | ○ | ○ | 7 |
|             | 定期考査   |  |  | ○ | ○ | ○ | 1 |
| 3<br>学<br>期 | 第 4 章<br>国際社会に生きる日本人としての自覚<br>古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想について理解し、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索す | 第 1 節<br>日本人としての精神風土<br>第 2 節<br>仏教と日本人の思想形成             | ・日本人の伝統的な自然観、宗教観、倫理観の特質について、自己とのかかわりにおいて理解している。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。<br>・日本の古代史・中世史に関する基本的な理解にもとづき、古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、仏教思想は古来の思想 | ○ | ○ | ○ | 5 |
|             | 第 4 章<br>国際社会に生きる日本人としての自覚<br>古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想について理解し、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索す | 第 3 節<br>儒教と日本人の思想形成<br>第 2 節<br>国学の思想<br>第 3 節<br>庶民の思想 | ・日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかかわりにおいて理解している。<br>・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。                        | ○ | ○ | ○ | 8 |
|             | 定期考査   |  |  | ○ | ○ | ○ | 1 |

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組：中嶋・石黒）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書： （ ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って発展的に考 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容   | 評価規準                                     | 知   | 思 | 態 | 配当<br>時数 |  |
|-------------|---|--|---|---|---|----------|--|
| 1<br>学期     | ・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。   | ・第1章第1節 式の計算                             | 【知識・技能】<br>多項式の因数分解や割り算などの計算を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>多項式の割り算の計算方法を理解しようとする態度がある。恒等式の性質を理解し、具体的な問題に取り組もうとする。   | ○ | ○ | ○        |  |
|             | ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。<br>・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。                             | ・第1章第2節 等式・不等式の証明<br>・第2章第1節 複素数と2次方程式の解 | 【知識・技能】<br>恒等式 $A = B$ の証明を、適切な方法で行うことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>不等式の証明に実数の性質を利用できるように、式変形を考えることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>不等式の証明を通じて、三角不等式に興味・関心を持ち、それを利用しようとする。  | ○ | ○ | ○        |  |
|             | 定期考査  |  |   | ○ | ○ |          |  |
|             | ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。  | ・第2章第2節高次方程式                             | 【知識・技能】<br>因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>多項式を1次式で割ったときの余りについて、剰余の定理で考察することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>1の3乗根の性質に興味・関心を持ち、具体的な問題に取り組もうとする。  | ○ | ○ | ○        |  |
|             | ・座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。<br>・座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 | ・第3章第1節点と直線<br>・第3章第2節円                  | 【知識・技能】<br>与えられた条件を満たす直線や円の方程式の求め方を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>円の方程式が $x, y$ の2次方程式で表されることを理解している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。   | ○ | ○ | ○        |  |
| 定期考査        |   |  | ○   | ○ |   |          |  |
| 2<br>学期     | ・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。                                       | ・第3章第3節軌跡と領域                             | 【知識・技能】<br>軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>点を満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。   | ○ | ○ | ○        |  |
|             | ・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。<br>・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。                              | ・第4章第1節三角関数<br>・第4章第2節加法定理               | 【知識・技能】<br>単位円周上の点の座標を、三角関数を用いて表すことができる。三角関数を含む2次方程式の解き方を理解している。加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式の角を統一して考えることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。 | ○ | ○ | ○        |  |
|             | 定期考査  |  |   | ○ | ○ |          |  |
|             | ・指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。  | ・第5章第1節指数関数                              | 【知識・技能】<br>累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。底と1の大小に注意して、指数関数を含む不等式を解くことができる。<br>【思考・判断・表現】<br>指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。  | ○ | ○ | ○        |  |
|             | ・対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする   | ・第5章第2節対数関数                              | 【知識・技能】<br>対数の様々な性質を利用できている。常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。  |   |   |          |  |

|             |  |  |   |   |   |   |  |
|-------------|--|--|---|---|---|---|--|
|             | る。】  |  | <p>勝し、それに基ついで種々の値を求めるところから。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。</p>   | ○ | ○ | ○ |  |
|             | 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   |  |
| 3<br>学<br>期 | <p>・微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。</p> | <p>・第6章第1節微分係数と導関数</p> <p>・第6章第2節関数の値の変化</p> | <p>【知識・技能】<br/>導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>導関数を表す種々の記号を理解して、それらを適切に使うことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>関数の増減や極値を調べ、3次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。</p>          | ○ | ○ | ○ |  |
|             | <p>・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p>  | <p>・第6章第3節積分法</p>                            | <p>【知識・技能】<br/>定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>図形の対称性に着目した面積計算をすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>定積分の性質を利用して、計算がなるべく簡単になるように工夫して計算しようとする意欲がある。</p> | ○ | ○ | ○ |  |
|             | 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   |  |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組：石黒 （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書： （数研出版 新編 数学B ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関りについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけようとする。 | 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の家庭や結果を振り返って考察したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|--|---|---|---|----------|
| 数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。 | 第1章 数列<br>第1節 等差数列と等比数列<br>1 数列と一般項<br>2 等差数列<br>3 等差数列の和 | 【知識・技能】<br>・等差数列の一般項・等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。<br>【思考・判断・表現】<br>・等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。<br>・等差数列の和を工夫して求める方法について考察できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・等差中項の性質に興味をもち、問題解決に取り組もうとする。<br>・等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 | ○ | ○ | ○ | 5        |
| 等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。                                  | 第1章 数列<br>第1節 等差数列と等比数列<br>4 等比数列<br>5 等比数列の和             | 【知識・技能】<br>・等比数列の一般項・等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。<br>【思考・判断・表現】<br>・等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。<br>・等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・等比中項の性質に興味をもち、問題解決に利用しようとする。<br>・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 | ○ | ○ | ○ | 5        |
| 定期考査   |   |  | ○ | ○ |   | 1        |
| 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。                 | 第1章 数列<br>第2節 いろいろな数列<br>6 和の記号Σ<br>7 階差数列<br>8 いろいろな数列の和 | 【知識・技能】<br>・記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。<br>・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。<br>【思考・判断・表現】<br>・数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単に行うことができる。<br>・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。<br>・群数列に興味をもち、考察しようとする。           | ○ | ○ | ○ | 7        |
| 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。                        | 第1章 数列<br>第2節 いろいろな数列<br>9 漸化式                            | 【知識・技能】<br>・漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。<br>・おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。   | ○ | ○ | ○ | 5        |
| 定期考査   |   |  | ○ | ○ |   | 1        |

|             |  |  |   |   |   |   |   |
|-------------|--|--|---|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | 数学的帰納法の仕組みを理解し、<br>様々な命題の証明に活用できるようにする。  | 第1章 数列<br>第2節 いろいろな数列<br>10 数学的帰納法                                   | 【知識・技能】<br>・数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。   | ○ | ○ | ○ | 3 |
|             | 確率変数と確率分布について理解し、<br>期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、<br>分布の特徴を把握できるようにする。             | 第2章 統計的な推測<br>第1節 確率分布<br>1 確率変数と確率分布<br>2 確率変数の期待値と分散<br>3 確率変数の和と積 | 【知識・技能】<br>・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。<br>・複雑な確率分布の期待値を、<br>確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることよき気づき、<br>確率分布について積極的に考察しようとする。  | ○ | ○ | ○ | 9 |
|             | 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1 |
|             | 連続型確率変数についても理解し、<br>正規分布を様々な日常の事象の考察<br>に活用できるようにする。                           | 第2章 統計的な推測<br>第1節 確率分布<br>4 二項分布<br>5 正規分布                           | 【知識・技能】<br>・反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。<br>・正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換できる。<br>【思考・判断・表現】<br>・具体的な事象を二項分布として捉え、<br>考察することができる。<br>・正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・二項分布に従う確率変数の期待値、<br>分散、標準偏差の公式について、<br>確率分布の定義から導こうとする。<br>・現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、<br>様々なデータについて考察しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 定期考査        |  |  | ○   | ○ |   | 1 |   |
| 3<br>学<br>期 | 母集団と標本、標本平均について理解し、<br>特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。           | 第2章 統計的な推測<br>第2節 統計的な推測<br>6 母集団と標本<br>7 標本平均の分布                    | 【知識・技能】<br>・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、<br>母平均、母標準偏差を求めることができる。<br>・母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。<br>・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・大数の法則に興味をもち、<br>標本の大きさnが大きくなる時の分布曲線の変化を、<br>コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。     | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | 母平均や母比率の推定、<br>正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、<br>それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。 | 第2章 統計的な推測<br>第2節 統計的な推測<br>8 推定<br>9 仮説検定                           | 【知識・技能】<br>・信頼区間の考え方をを用いて、<br>母平均や母比率の推定ができる。<br>・仮説検定の考え方をを用いて、<br>日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・片側検定と両側検定の違いを理解し、<br>どちらの検定をするか正しく判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・母平均や母比率の推定に関心を示し、<br>信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察しようとする。   | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1 |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：（1組：兵藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（第一学習社 新化学基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|---|--|
| 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 | 自然の事物・現象の中に問題を見だし、質的・量的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する力を養う。 | 物質とその変化について主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。 |

|         | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容                           | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---------|---|-----------------------------------|--|---|---|---|----------|
|         |   |                                   |  |   |   |   |          |
| 1<br>学期 | 物質の構成<br>【知識及び技能】<br>元素と物質の分類について学ぶ。<br>状態変化と熱運動について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>物質を分離・精製する方法を考える。<br>【学びに向かう力、人間性等】              | 教科書p.18-31<br>第1章第1節「物質とその構成要素」   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○ | 6        |
|         | 物質の構成粒子<br>【知識及び技能】<br>原子の構造について学ぶ。<br>周期表について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>電子配置と周期表の属や周期との関連性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】              | 教科書p.32-45<br>第1章第1節「物質とその構成要素」   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○ | 5        |
|         | 定期考査  |                                   |  | ○ | ○ |   | 1        |
| 2<br>学期 | 粒子の結合<br>【知識及び技能】<br>化学結合について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>結合と物質の性質との関連性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養                | 教科書p.48-77<br>第1章第2節「化学結合」        | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○ | 13       |
|         | 定期考査  |                                   |  | ○ | ○ |   | 1        |
|         | 物質質量と化学反応式<br>【知識及び技能】<br>物質質量について学ぶ。<br>化学反応式について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>化学反応に関与する物質の量的関係を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】            | 教科書p.84-113<br>第2章第1節「物質質量と化学反応式」 | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○ | 11       |
| 定期考査    |   |                                   | ○  | ○ |   | 1 |          |
| 3<br>学期 | 酸と塩基の反応<br>【知識及び技能】<br>酸と塩基の定義について学ぶ。<br>中和反応について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>中和反応に関与する物質の量的関係を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】             | 教科書p.118-141<br>第2章第2節「酸・塩基とその反応」 | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○ | 10       |
|         | 定期考査  |                                   |  | ○ | ○ |   | 1        |
|         | 酸化還元反応<br>【知識及び技能】<br>酸化還元反応の定義について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>酸化還元反応に関与する物質及び電子の量的関係を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養 | 教科書p.144-167<br>第2章第3節「酸化還元反応」    | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○ | 9        |
| 定期考査    |   |                                   | ○  | ○ |   | 1 |          |



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：（1組：兵藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（第一学習社 新物理基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 | 自然の事物・現象の中に問題を見だし、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する力を養う。 | 物体の運動と様々なエネルギーに対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知  | 思 | 態 | 配当<br>時数 |    |
|---|---|--|--|---|---|----------|----|
| 1<br>学期   | 物体の運動<br>【知識及び技能】<br>物体の運動について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>物体の運動について、規則性や関係性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養<br>定期考査                   | 教科書p.10-39<br>第1章第1節「物体の運動」  | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 12 |
|   |   |  |  | ○ | ○ |          | 1  |
|   | 力と運動の法則<br>【知識及び技能】<br>物体にはたらく力とその運動について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>物体にはたらく力とその運動について、規則性や関係性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養<br>定期考査 | 教科書p.40-75<br>第1章第2節「力と運動の法則」  | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 11 |
|   |   |  | ○  | ○ |   | 1        |    |
| 2<br>学期   | 仕事と力学的エネルギー<br>【知識及び技能】<br>力学的エネルギーと仕事について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>力学的エネルギーと仕事について、規則性や関係性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養<br>定期考査 | 教科書p.76-93<br>第1章第3節「仕事と力学的エネルギー」  | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 7  |
|   | 熱とエネルギー<br>【知識及び技能】<br>熱と温度について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>熱と温度および仕事について、規則性や関係性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養<br>定期考査              | 教科書p.98-111<br>第2章第1節「熱とエネルギー」   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 7  |
|   |   |  |  | ○ | ○ |          | 1  |
|   | 波の性質<br>【知識及び技能】<br>波の性質と波動現象について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>波の性質と波動現象について、規則性や関係性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養<br>定期考査            | 教科書p.116-131<br>第3章第1節「波の性質」   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 6  |
|   | 音波<br>【知識及び技能】<br>音の伝わり方や固有振動について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>音の伝わり方や固有振動について、規則性や関係性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養<br>定期考査          | 教科書p.132-145<br>第3章第2節「音波」   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 6  |
|   |   |  | ○  | ○ |   | 1        |    |
| 電荷と電流<br>【知識及び技能】<br>電気と物質の電気抵抗について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>電気と物質の電気抵抗について。規則性や関連性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養<br>定期考査 | 教科書p.150-165<br>第4章第1節「電荷と電流」   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○  | ○ | ○ | 6        |    |

|             |  |                                    |  |   |   |   |   |
|-------------|--|------------------------------------|--|---|---|---|---|
| 3<br>学<br>期 | 電流と磁場<br>【知識及び技能】<br>電流と磁場について学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>電流と磁場について、規則性や関係性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>互いに教え合い、自ら学ぶ姿勢を養  | 教科書p.166-173<br>第4章第2節「電流と磁場」      | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
|             | エネルギーとその利用<br>【知識及び技能】<br>さまざまな発電方法や放射線の性質を学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>エネルギーの特性や利用などについて、規則性や関係性を見出す。<br>【学びに向かう力、人間性等】 | 教科書p.174-179<br>第4章第3節「エネルギーとその利用」 | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
|             | 定期考査   |                                    |  | ○ | ○ |   | 1 |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科：理科 科目：地学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：加藤凌）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（地学基礎(出版社名)東京書籍、ニューサポート地学基礎(出版社名)東京書籍）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎 の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 | 観察、実験などの探究的な活動を通して科学の方法を習得することを目標にし、地球や地球を取り巻く環境に対する物事を多角的に考察し、表現する能力を高める。 | 地学的な事物・現象の中から問題を見いだし、観察、実験などを通して探究の過程をたどることによって科学の方法を習得し、地学的に探究する能力と態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知  | 思 | 態 | 配当<br>時数 |   |
|--|---|--|--|---|---|----------|---|
| 1<br>学期  | A 単元 大地とその動き<br>【知識及び技能】<br>地球の大きさ、構造、プレートの動きを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>地球の大きさ、構造、プレートの動きを考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>地球の大きさ、構造、プレートの動きを考察する。 | ・P14～30<br>・QR教材   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 6 |
|  | B 単元 火山活動と地震<br>【知識及び技能】<br>火山噴火の多様性、火成岩、地震の発生と場所を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>地球の構造について物質から考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>地球の構造について物質から考察する。       | ・P32～49<br>・QR教材<br>・岩石モデルの観察  | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 7 |
|  | 定期考查  |  |  | ○ | ○ |          | 1 |
|  | C 単元 地球の熱収支<br>【知識及び技能】<br>大気構造、熱収支を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>大気で起こる現象を考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>大気構造、熱収支を知ろうとする。                           | ・P52～58<br>・QR教材   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 5 |
| 2<br>学期  | D 単元 大気と海水の運動<br>【知識及び技能】<br>運動の原因、循環、海水運動、相互作用を正しく理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>大気と海洋の相互作用を考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>各現象を知ろうとする。               | ・P60～73<br>・教材<br>・一人1台端末の活用   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 6 |
|  | 定期考查  |  |  | ○ | ○ |          | 1 |
|  | A 単元 宇宙の構造と進化<br>【知識及び技能】<br>誕生、太陽系について正しく知ろうとする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>太陽系の構成を考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>太陽と地球について知ろうとする。                     | ・P76～95<br>・一人1台端末の活用<br>・QR教材の活用  | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 6 |
|  | B 単元 地層と化石の観察<br>【知識及び技能】<br>地層の形成を正しく理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>地層から分かる情報を理解する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>知識と情報を活用しようとする。                         | ・P98～102<br>・一人1台端末の活用<br>・QR教材の活用   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○ | ○ | ○        | 5 |
| 定期考查   |   |  | ○  | ○ |   | 1        |   |
| C 単元 古生物の変遷と地球環境<br>【知識及び技能】<br>地球史の初期を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>先カンブリア期、古生代、中生代、新生代を考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>知識と情報を活用しようとする。 | ・P106～127<br>・一人1台端末の活用<br>・QR教材の活用   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。<br>【思考・判断・表現】<br>思考・判断・表現に関する考查問題が解ける。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。 | ○  | ○ | ○ | 9        |   |
| D 単元 日本の自然の恵みと防災<br>【知識及び技能】   | ・P130～144<br>・一人1台端末の活用   | 【知識・技能】<br>知識・技能に関する考查問題が解ける。  |  |   |   |          |   |

|             |   |  |  |   |   |   |    |
|-------------|---|--|--|---|---|---|----|
|             | <p>自然環境の特徴、恵み、防災を理解する。<br/> <b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>         気象災害。地震災害、火山災害を考察する。<br/> <b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>         知識と情報を活用しようとする。<br/>         定期考査</p>   | <p>・QR教材の活用</p>  | <p><b>【思考・判断・表現】</b><br/>         思考・判断・表現に関する考査問題が解ける。<br/> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br/>         授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。</p>   | ○ | ○ | ○ | 6  |
|             |   |  |  | ○ | ○ |   | 1  |
| 3<br>学<br>期 | <p>A 単元 地球環境の考え方、自然環境の変動<br/> <b>【知識及び技能】</b><br/>         考え方、環境の変化を理解する。<br/> <b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>         考え方、環境の変化を考察する。<br/> <b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>         知識と情報を活用しようとする。</p>                | <p>・P148～156<br/>         ・一人1台端末の活用<br/>         ・QR教材の活用</p> | <p><b>【知識・技能】</b><br/>         知識・技能に関する考査問題が解ける。<br/> <b>【思考・判断・表現】</b><br/>         思考・判断・表現に関する考査問題が解ける。<br/> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br/>         授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。</p> | ○ | ○ | ○ | 4  |
|             | <p>B 単元 これからの地球環境<br/> <b>【知識及び技能】</b><br/>         世界の取り組み、代替エネルギーを理解する。<br/> <b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>         持続可能な発展を考察する。<br/> <b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>         知識と情報を活用しようとする。<br/>         定期考査</p> | <p>・P162～169<br/>         ・一人1台端末の活用<br/>         ・QR教材の活用</p> | <p><b>【知識・技能】</b><br/>         知識・技能に関する考査問題が解ける。<br/> <b>【思考・判断・表現】</b><br/>         思考・判断・表現に関する考査問題が解ける。<br/> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br/>         授業中の学習活動に参加している。課題に取り組み、提出している。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
|             |   |  |  |   | ○ | ○ |    |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：谷野）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付け

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生

科目 体育 の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|---|--|
| 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくりの運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 | 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保することができるようにする。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|-----------|--|---|---|---|----------|
| 球技（バドミントン）<br>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。<br>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 | バドミントン    | 【知識・技能】<br>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。<br>【思考・判断・表現】<br>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。<br>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6        |
| 体づくり運動<br>・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。<br>・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。<br>・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。  | 体づくり運動    | 【知識・技能】<br>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。<br>【思考・判断・表現】<br>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。<br>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4        |
| 1<br>定期考査   |           |  |   |   |   |          |
| ウインドサーフィン   | ウインドサーフィン | 【知識・技能】<br>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。<br>【思考・判断・表現】<br>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間   |   |   |   |          |

|  |           |  |   |   |   |   |
|--|-----------|--|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> <li>・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。</li> </ul>  |           | <p>間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <p>ウインドサーフィン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする</li> <li>・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> <li>・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。</li> </ul> | ウインドサーフィン | <p>【知識・技能】<br/>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 定期考査   |           |  |   |   |   |   |
| <p>ウインドサーフィン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする</li> <li>・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> <li>・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。</li> </ul> | ウインドサーフィン | <p>【知識・技能】<br/>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>ウインドサーフィン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする</li> </ul>  | ウインドサーフィン | <p>【知識・技能】<br/>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間</p>  |   |   |   |   |

|             |              |  |  |   |   |   |   |
|-------------|--------------|--|--|---|---|---|---|
|             |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> <li>・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。</li> </ul>  | <p>間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 8 |
|             | 定期考査         |  |  |   |   |   |   |
| 2<br>学<br>期 | 武道           | 柔道   | <p>【知識・技能】<br/>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったり事故や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題可決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などを用いた攻防を展開することができるようにする。</li> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</li> <li>・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</li> </ul> |  |   |   |   |   |
|             | 球技（バスケットボール） | バスケットボール   | <p>【知識・技能】<br/>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | 定期考査         |  |  |   |   |   |   |
|             | 陸上競技（持久走）    | 持久走  | <p>【知識・技能】<br/>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p>  |   |   |   |   |
|             |              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。</li> </ul>   |  |   |   |   |   |

|             |   |        |   |   |   |   |   |
|-------------|---|--------|---|---|---|---|---|
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> <li>・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>  |        | <p>間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。<br/>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 3<br>学<br>期 | <p>球技（ソフトボール）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</li> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> <li>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul> | ソフトボール | <p>【知識・技能】<br/>それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。<br/>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 定期考査        |   |        |   |   |   |   |   |



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：地理歴史 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：（1組：谷野）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

| 【知識及び技能】                                       | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|--|--|
| 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容    | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|------------|---|---|---|---|----------|
| ・ライフステージと健康の関連について説明できる。<br>・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。    | ライフステージと健康 | <b>【知識・技能】</b><br>・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。<br>・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。<br>・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。<br>・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。<br>・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3        |
| ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。<br>・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。 | 思春期と健康     | <b>【知識・技能】</b><br>・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。<br>・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。<br>・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。<br>・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。<br>・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2        |

|         |   |                                   |   |   |   |   |   |
|---------|---|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1<br>学期 | 定期考査  |                                   |   |   |   |   |   |
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・性意識の男女差について例をあげて説明できる。</li> <li>・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。</li> </ul>   | 性意識と性行動の選択                        | <b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。</li> <li>・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。</li> <li>・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。</li> <li>・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。  | ○ | ○ | ○ | 2 |
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。</li> <li>・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。</li> <li>・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。</li> <li>・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。</li> <li>・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。</li> <li>・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。</li> </ul> | 妊娠・出産と健康<br>避妊法と人工妊娠中絶<br>結婚生活と健康 | <b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。</li> <li>・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。</li> <li>・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。</li> <li>・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| 定期考査    |   |                                   |   |   |   |   |   |
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。</li> <li>・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。</li> </ul>  | 中高年期と健康                           | <b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul>  |   |   |   |   |

|  |  |   |   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|---|---|
|  |  | <p>リ書いてりしている。<br/>         ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br/>         ・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br/> <b>【思考・判断・表現】</b><br/>         ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。<br/>         ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。<br/> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br/>         生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 3 |
| <p>・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。<br/>         ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。<br/>         ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。<br/>         ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。<br/>         ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。<br/>         ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。</p>      | <p>働くことと健康<br/>         労働災害と健康<br/>         健康的な職業生活</p>        | <p><b>【知識・技能】</b><br/>         ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br/>         ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br/> <b>【思考・判断・表現】</b><br/>         ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。<br/>         ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。<br/>         ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。<br/>         ・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。<br/> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br/>         労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 3 |
| <p>定期考査</p>  |  |   |   |   |   |   |
| <p>・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。<br/>         ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。<br/>         ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。<br/>         ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。<br/>         ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。<br/>         ・産業廃棄物の処理について説明できる。</p> | <p>大気汚染と健康<br/>         水質汚濁、土壌汚染<br/>         環境と健康にかかわる対策</p>  | <p><b>【知識・技能】</b><br/>         ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br/>         ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br/>         ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br/> <b>【思考・判断・表現】</b><br/>         ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。<br/>         ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。<br/>         ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。<br/> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br/>         環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 3 |
| <p>・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。<br/>         ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。<br/>         ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。</p>  | <p>ごみ処理と上下水道の整備<br/>         食品の安全性<br/>         食品衛生にかかわる活動</p> | <p><b>【知識・技能】</b><br/>         ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br/> <b>【思考・判断・表現】</b><br/>         ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。<br/>         ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。<br/>         ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。<br/> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br/>         環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>  |   |   |   |   |

|             |  |   |   |   |   |   |   |
|-------------|--|---|---|---|---|---|---|
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。</li> </ul>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。</li> <li>・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 3 |
|             | 定期考査   |   |   |   |   |   |   |
| 3<br>学<br>期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健行政の役割について例をあげて説明できる。</li> <li>・保健サービスの活用の例をあげることができる。</li> <li>・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。</li> <li>・さまざまな医療機関の役割について説明できる。</li> <li>・医薬品の正しい使用法について説明できる。</li> <li>・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。</li> </ul> | 保健サービスとその活用<br>医療サービスとその活用<br>医療品の制度とその活用 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。</li> <li>・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。</li> <li>・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。</li> <li>・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。</li> <li>・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。</li> </ul>   | さまざまな保健活動や社会的対策<br>健康に関する環境づくりと社会参加       | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながるについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。<br/>健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 3 |
|             | 定期考査   |   |   |   |   |   |   |







|   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|
| <p>Lesson7 Social Media and Communication</p> <p><b>【知識及び技能】</b><br/>付帯状況を表すwith・I wish+仮定法過去・部分否定・S+V+C (that節)を用いた文の意味や働きを理解し、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について話したり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>読んだ内容について書いてまとめるために、ソーシャルメディアやコミュニケーションについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>クラスメートにわかるように、ソーシャルメディアやコミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。</p> | <p>Part 1: コミュニケーションの方法が時代とともに変化してきたことを理解する。</p> <p>Part 2: 科学技術がコミュニケーションに与えた影響を理解する。</p> <p>Part 3: オンラインコミュニケーションが人間関係や言語に与える影響について理解する。</p> <p>Part 4: ソーシャルメディアの課題や利点について理解する。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ |   |
| 定期考査  |   |   |   |   |   |   |  | ○ | ○ |   | 1 |
| <p>3<br/>学<br/>期</p> <p>Lesson8 People and Robots</p> <p><b>【知識及び技能】</b><br/>suggestに続くthat節・動名詞の意味上の主語・if節に代わる表現・未来完了形を用いた文の意味や働きを理解し、人間とロボットの関係について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>読んだ内容について書いてまとめるために、人間とロボットの関係について書かれた文章の概要や要点を捉えている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>クラスメートにわかるように、人間とロボットの関係について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。</p>                                | <p>Part 1: "robot"の語源とロボット技術の進展について理解する。</p> <p>Part 2: セラピーロボットの役割について理解する。</p> <p>Part 3: アバターロボットとは何かについて理解する。</p> <p>Part 4: 将来のロボットに求められる役割について理解する。</p>                           | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>「単元の具体的な指導目標」に基づき、音読活動、問題演習、ペア・グループ活動、発表ややり取りなどの実技テスト、定期考査、その他授業内外の取り組みなどを総合的に評価する。</p> | ○ | ○ | ○ |   |
| 定期考査  |   |   |   |   |   |   |  | ○ | ○ |   | 1 |



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： （1組：小寺邦子） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書： （ 家庭総合 明日の生活を築く 開隆堂 ）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|---|--|
| 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらにかかる技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 |

|         | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---------|--|--|---|---|---|---|----------|
|         |  |  |   |   |   |   |          |
| 1<br>学期 | <b>家族・家庭および社会</b><br><b>【知識及び技能】</b><br>家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や、男女の平等と協力、社会との関わりについて理解を深める。<br><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br>統計や家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、論理的に解決策を考察する。<br><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br>家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができる。            | 家族・家庭の機能と家族関係<br>家族・家庭と法律<br>家庭生活と福祉<br>男女の平等と協力<br>家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性<br>社会保障制度 | <b>【知識・技能】</b><br>家族・家庭、世帯、親族などの違いを理解できたか。<br>家族・家庭と社会の関わりについて理解できたか。<br>民法の条文を読み取り理解することができたか。<br>社会保障制度の仕組みと活用や、現在の日本の社会保障制度の課題について理解できたか。<br><b>【思考・判断・表現】</b><br>統計や家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、論理的に解決策を考察できたか。<br><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br>家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができたか。 | ○ | ○ | ○ | 8        |
|         | <b>青年期の自立</b><br><b>【知識及び技能】</b><br>青年期の課題である自立や意思決定の重要性、社会との関わりについて理解を深める。<br><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br>家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。<br><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br>家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができる。 | 各ライフステージの特徴と課題<br>青年期の課題である自立<br>意思決定の重要性  | <b>【知識及び技能】</b><br>青年期の課題である自立や意思決定の重要性、社会との関わりについて理解できたか。<br><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br>家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察できたか。<br><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br>家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考えることができたか。  | ○ | ○ | ○ | 8        |
|         | <b>衣生活の科学と文化</b><br><b>【知識及び技能】</b> 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服、衣服が持つ機能や安全性などについて理解する。<br><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服を鑑み、人はなぜ衣服を着るのか考えることができる。<br><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。   | 衣生活を取り巻く課題<br>日本と世界の衣文化<br>被服と人との関わり   | <b>【知識及び技能】</b> 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服、衣服が持つ機能や安全性などについて理解できたか。<br><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 衣服の起源や歴史、風土に適した衣服を鑑み、人はなぜ衣服を着るのか考えることができたか。<br><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとしたか。  | ○ | ○ | ○ | 8        |
|         | 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1        |
|         | <b>衣生活の科学と文化</b><br><b>【知識及び技能】</b> 衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができる。<br><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができる。   | 身体特性と被服の機能及び着装<br>健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理<br>被服材料<br>被服構成<br>被服製作<br>被服管理           | <b>【知識及び技能】</b> 衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識や、縫製技術を身につけることによって、衣服を適切に選択し管理することができたか。<br><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができたか。<br><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとしたか。  |   |   |   |          |

|             |  |  |  |   |   |   |    |   |
|-------------|--|--|--|---|---|---|----|---|
|             | <p>材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。</p>  |  | <p>【学びに向かう力、人間性等】衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとしたか。</p>   | ○ | ○ | ○ | 16 |   |
| 2<br>学<br>期 | <p>生活を支える経済</p> <p>【知識及び技能】生活における経済と社会のかかわりや、家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。</p> | <p>家計の構造</p> <p>生活における経済と社会との関わり</p> <p>生涯を見通した経済の管理、計画</p> <p>ライフステージごとの課題や社会保障制度との関連</p>           | <p>【知識及び技能】生活における経済と社会のかかわりや、家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解できたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしたか。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |   |
|             |  |  |  |   |   |   |    |   |
|             |  |  |  |   |   |   |    |   |
|             | 定期考査   |  |  |   | ○ | ○ |    | 1 |
| 3<br>学<br>期 | <p>消費行動と意思決定</p> <p>【知識及び技能】消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を意欲的に考えようとしている。</p>                                       | <p>消費生活の現状と課題</p> <p>消費行動における意思決定や責任</p> <p>ある消費の重要性</p> <p>消費者問題</p> <p>契約の重要性</p> <p>消費者保護の仕組み</p> | <p>【知識及び技能】消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を意欲的に考えようとしたか。</p>   | ○ | ○ | ○ | 8  |   |
|             | <p>持続可能なライフスタイルと環境</p> <p>【知識及び技能】家庭生活と資源・環境との関係や持続可能な消費について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題を見つけ、解決の方向性を判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けた消費行動について意欲的に考えようとしている。</p>   | <p>生活と環境との関わり</p> <p>持続可能な消費</p> <p>持続可能な社会への参画</p>  | <p>【知識及び技能】家庭生活と資源・環境との関係や持続可能な消費について理解できたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題を見つけ、解決の方向性を判断することができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けた消費行動について意欲的に考えようとしたか。</p>  | ○ | ○ | ○ | 8  |   |
|             | 定期考査   |  |  |   | ○ | ○ |    | 1 |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

総合的な探究の時間 科目

教科： 総合的な探究の時間

科目：

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：谷野、小寺、佐藤克、金綱、佐藤圭）

（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（

）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】

探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

実社会や実生活と事象との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目

の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】                                     | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| 小笠原や東北地方に係る様々な分野において、情報を収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付ける。 | 小笠原や東北地方に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高める。 | 地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養う。将来に向けて自己の在り方を考え、より良い生き方を主体的に選択しようとする。 |

|         | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---------|--|---|--|---|---|---|----------|
| 1<br>学期 | 小笠原をテーマにビジネスプランを考えよう<br>【知識及び技能】小笠原に係る様々な課題を理解する<br>情報収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付ける<br>【思考力、判断力、表現力等】小笠原に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高める<br>【学びに向かう力、人間性等】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養う                           | 地域や身の回りの生活から社会課題を見いだす<br>課題解決手段となる「商品・サービス」「ターゲット」を設定する<br>ビジネスプランシートを作成する<br>一人1台端末の活用 | 【知識・技能】小笠原に係る様々な課題を理解できたか<br>情報収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付けたか<br>【思考・判断・表現】小笠原に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高めたか<br>【主体的に学習に取り組む態度】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養ったか                   | ○ | ○ | ○ | 8        |
|         |  |   |  |   |   |   |          |
| 2<br>学期 | 修学旅行事前学習<br>東日本大震災と原子力発電について<br>【知識及び技能】東日本大震災と原子力発電に係る様々な課題を理解する<br>情報収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付ける<br>【思考力、判断力、表現力等】東日本大震災と原子力発電に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高める<br>【学びに向かう力、人間性等】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養う | 東日本大震災と原子力発電について情報収集を行い社会課題を見いだす<br>課題解決のため、情報収集・整理・分析手順を理解する<br>発表する<br>一人1台端末の活用      | 【知識・技能】東日本大震災と原子力発電に係る様々な課題を理解できたか<br>情報収集・整理・分析を通して問題解決能力を身に付けたか<br>【思考・判断・表現】東日本大震災と原子力発電に係る様々な分野において探究・発表することで探究心と表現力及び問題解決能力を高めたか<br>【主体的に学習に取り組む態度】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養ったか | ○ | ○ | ○ | 8        |
|         |  |   |  |   |   |   |          |
| 3<br>学期 | 修学旅行事後学習<br>東日本大震災と原子力発電について<br>【知識及び技能】東日本大震災と原子力発電のその後について理解する<br>【思考力、判断力、表現力等】事前学習による問題解決方法を検証する<br>【学びに向かう力、人間性等】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養う   | 東日本大震災と原子力発電のその後を理解する<br>発表する<br>一人1台端末の活用  | 【知識及び技能】東日本大震災と原子力発電のその後について理解できたか<br>【思考力、判断力、表現力等】事前学習による問題解決方法を検証できたか<br>【学びに向かう力、人間性等】地域社会を作る力を育むとともに、道徳性を養ったか   | ○ | ○ | ○ | 8        |
|         |  |   |  |   |   |   |          |